学校だより「はつやま」

はつ　はつらつとした子（きらきら）　や　やさしい子（ほかほか）　ま　まなぶ子（ぐんぐん）

令和４年１１月２４日　第３９号　壱岐市立初山小学校　文責：校長　野間　恭介

不審者対策の避難訓練実施

１１月２１日（月）に、「不審者対策の避難訓練」を実施しました。

目的は、「不審者が学校に侵入したとき、一人も危害を加えられることなく、みんなが安全に素早く避難できるようにする」ことでした。子供たちを素早く安全に避難させるためには、迅速な情報伝達や通報、そして不審者への適切な対応が重要です。この訓練では、子供たちの避難のしかただけでなく、職員が不審者の侵入に対して迅速に適切に対応できるかの訓練でもありました。そのため、初山駐在所の﨑田さんや志原駐在所の瀬尾さんに来校いただき、訓練の様子を見てもらいました。

２年生教室に不審者が侵入したという想定で訓練を行いました。２年生の子供たちは落ち着いて行動することができていて、不審者の侵入も素早く伝えることができました。

避難後に、﨑田さんや瀬尾さんより、訓練について話をいただきました。

瀬尾さんは、子供たちへ「不審者の特徴」や「危険な場所」について、具体的に話をいただきました。

﨑田さんは、訓練で良かった点について話をいただきました。

・２年生の子供たちの避難のしかたがたいへん良かった。

・職員の不審者への迅速で適切な対応が良かった。

しかし、いつも今回の訓練のようになるわけではありません。臨機応変に対応できることが重要になってきます。今回の訓練を通して出てきた課題も踏まえて、「不審者が学校に侵入したとき、一人も危害を加えられることなく、みんなが安全に素早く避難できるようにする」ために、今後も継続して訓練に取り組んでいきたいと思います。

私も避難後、子供たちに以下のような内容で話をしました。

今日の避難訓練は、「不審者が学校に侵入したとき、一人も危害を加えられることなく、みんなが安全に素早く避難できるようにするための訓練」でした。

不審者はあちこちにいるわけではありません。でも、子供に対して犯罪を起こしてしまう人がいるのは事実です。「まさか」というとき、「自分の命は自分で守る」ことができるように、日頃から訓練しておくことが大切なのです。

「自分の命は自分で守る」ために、みんなに知ってほしい３つの合言葉があります。

１つ目は「いかのおすし」です。

いか：知らない人について行かない。　の：知らない人の車に乗らない

お：大きな声を出す（防犯ブザーを鳴らす）　す：すぐに逃げる

し：まわりの大人に知らせる

２つ目は、危ない場所の合言葉「ひまわり」です。

ひ：ひとりきりになるところ　ま：まわりから見えないところ

わ：分かれ道や裏道があるところ　り：利用されていない家や空き地

３つ目は、不審者（あやしい人）を見分ける合い言葉「はちみつじまん」です。

は：しつこく話しかけてくる人　ち：理由もないのに近づいてくる人

み：じっと見つめてくる人　つ：いつまでもついてくる人

じま：じっと待っている人　ん：こういう人に会ったら「ん？」と注意です。

「自分の命は自分で守る」ことができるように、日頃から気を付けていきましょう。